

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年4月20日(土) 13時～15時半 チケット申込者28名(昼・夜自由に鑑賞)

【会場】 浦添市てだこホール (浦添市仲間1丁目9-3)

2. 本日のプログラム ①「オレンジ・ランプ」上映会 ②丹野智文さんとの交流会

3. 参加者数 ①30名(内訳：当事者5名、家族19名、専門職6名)昼の部・夜の部含む

②15名(内訳：当事者5名、家族7名、専門職3名)他の参加者含まない

4. 当日の様子

新年度初のカフェ開催ですが、浦添市で開催された丹野智文さんの「オレンジ・ランプ」上映会の日と重なっていた為、カフェの仲間で「上映会に行こう」と企画。又、昼の部を終えてから、丹野智文さんと沖縄県の当事者・家族との交流会を開催する企画を準備し、交流会には20人前後の参加者がありました(那覇市からも当事者と地域包括支援センター職員複数名参加あり)。丹野さんが仙台で実施している「オレンジ・ドア」の活動や、集いについて意見交換しました。

5. 所感

普段から集いの場である若年性認知症カフェ等に参加しなければ、本人同士・家族同士が繋がること無い為、コーディネーターとのやり取りになりがちなのですが…(その為、積極的にカフェへ案内をしています)今回は丹野さんが来るという事で普段集いに参加したことの無い参加も多くありました。同じ病気の仲間が自分以外にも居るという事を認識し、同じ悩みを持つこと等色々な気づきがあった交流会になったと思います。又、沖縄県認知症希望大使3人が、久しぶりに同じ場所に集う事ができました。チケットは浦添介護福祉士会から参加者分申込し、届けて頂きました！



★次回予定：2024年5月18日(土)

以上